

1) 2021年度通常総会

新型コロナウイルスに感染拡大の影響により2021年度支部通常総会は昨年度同様、集合型を取りやめ書面による表決のみとし、議案書を会員へ発送後下記スケジュールで進められました。

5/7(金) 締め切りで質疑受付。(回答は会員へ公開)。

5/12(水) 書面及び委任による表決の回答期限。

5/14(金) 幹事にて集計。議長は小西支部長を選出する。幹事から議事録署名人を指名。

会員数138名、81名回答(書面表決39名・委任状表決42名)、質疑なし

15:00～ JIA 北海道支部事務局 計8名の幹事の出席で 通常総会を開催

5/19(水) 結果を会員へ告知。

2) 支部総務グループ

・毎回 幹事会において審議される 第1～第4 四半期決算の準備と事前審査をおもに行いました。

本年度は新型コロナの影響により各事業の執行が困難なため

公益会計における事業費の支出がほぼ無い、特殊な決算報告となりました。

年度末には JIA が内閣府に提出するための支部2022年度仮予算案を、仮決算をもとに作成して提出しました。4月の決算確定後 次年度の予算案を作成して 本総会に提出します。

・事務局が設計会館 701号室へ移転いたしました。それに伴い 旧事務局の復旧工事及び引き渡し事務を行いました。

3) 本部財務委員会(新貝孝之)

2021年5月25日(火)より毎月1回開かれる 本部財務委員会(WEB方式・JIA館5階応接室)

に毎回出席いたしました。おもな内容は

・2021年度 JIA 事業活動助成について 公益性の審査を行い 補助の有無、補助金額、活動報告の審査

・2018～2020年度の財務諸表を作成して 理事会における意思決定のために必要なデータを提供する。

- 1) 「HOKKAIDO ARCHITECTS の横顔」会員紹介冊子の検討・編集
 - 会員紹介をメインにした冊子の発行についての検討。費用等の検討の結果、2022年より年3回発行することとし、第1号発刊に向けて会員への取材・編集作業を行った。
- 2) 建築展図録の検討
 - 2022年度に開催予定の建築展の図録について、制作の検討を進めた。

―業務統括グループ―

グループリーダー 齊藤 文彦

1) 職能業務グループ：

・菅原グループリーダーを中心に、北海道建築設計会議幹事会への参加（昨年度は基本WEB開催）や全道建築確認円滑化会議、赤レンガ建築賞実行委員会などの対応を行った。建築設計会議幹事会においては、コロナ禍、働き方改革など各会との共通の課題解決に向けて議論を重ねた。

2) 資格制度実務委員会：

・大田委員長を中心に全国会議情報を支部に提供いただいた。また、・・・・（大田さんの分を追記ください。）

―災害対策グループ―

グループリーダー 齊藤 文彦

1) 災害対策グループ：応急危険度判定などの要請もなく、各自の自主活動となった。

2) 災害対策会議（全国）においては、隔月で行われる会議で、各支部や地域会での行政との連携協定の取組について情報共有を行った。また、大規模地震があるたびに本部との連携において、活動準備をしてきた。また、ホームページやJIAのBCPの見直し作業をしているところである。さらに、SDGsに向けた取り組みにおいて、災害対策の視点からできることについて、内野議長を中心に協議してきた。

—— 職能業務グループ ——

グループリーダー 菅原秀見
メンバー 大江徹
岡田幸生
菊地靖
鉄川大
西村武
森下陽治

1) 北海道建築設計会議への参加

建築設計関連11団体（10団体＋新聞社）で構成される会議体で、年間6回開催された。

建築設計の団体に加え、設備設計、構造設計、積算などの団体で構成され、幅広い情報交換の場となっている。本年度は各団体で共通する議題をテーマとし、本会の設立合意書に立ち返り、建築設計業界における三つの基本問題（①社会的役割の認知、②資格制度、職能確立、③職能向上）の今日的状況や、環境問題や BIM 活用など様々な議題についての議論を行った。2020年度はコロナの影響により Web 会議を主体としたが、2021年度は会議頻度を少なくし隔月の開催とした。

2) 全道確認円滑化対策連絡協議会への参加

2022年3月10日に開催された協議会に参加した。北海道が主催し、全道市町村の建築担当職、建築関係諸団体の出席による会議で、確認申請における最新の状況の共有を行った。

本部国際委員会

国内外交流グループ
本部国際委員 菅原秀見

毎月1回開催される本部国際委員会（Web 会議）に出席。UIA を含む各国の建築家団体との交流活動内容の共有、Webinar の企画（越境する建築家シリーズ）などについて協議した。

—支部建築家資格制度実務委員会—

委員長：大田司（支部委員長）
副委員長：中藪則喜（本部委員長）
委員：山之内裕一、澤康昌

■登録建築家更新・再登録審査

2月22日、申請内容の調査を支部資格制度実務委員会で行い、2021年3月22日に登録建築家の更新・再登録の認定評議会をWEBにて行いました。
今回の更新者は北海道支部全体で37名です。内訳は、細則9条1による更新者28名、同9条3による更新者9名です。再登録については1名です。いずれも細則10条1項による再登録で承認されました。

■登録建築家の新規認定審査

今年度は個別に連絡を取る等のプロモーションを行いましたが、残念ながら新規申請がありませんでした。資格制度の必要性を周知していく必要性を感じました。
次年度は本部で新しい特別委員会が立ち上がった折には、それに合わせて情報を公開していき、新規の申請に繋がりたいと考えています。

■支部資格制度委員会での意見（2/22の支部申請調査時の意見交換）

- ・専兼問題について下記内容を報告しました。
登録更新、再登録時の勤務先業態の第三者性、自律性の担保についての対応を統一しました。
 - ・登録削除について、行政処分による登録削除、近畿での事例の報告を行いました。
 - ・資格制度準備WGについて、報告書案で現状の活動を報告し下記意見が上がりました。
→日本では建築士の資格があるため、建築家の資格がなかなか進まない印象である。
海外の建築家の資格更新はCPDが必須なので取得せざるを得ない状況が生まれる。
→JIA会員でもCPD取得が本来は必要なので、それを会員資格要件に加えることで登録建築家への道筋がスムーズになるのではないか。
→建築士講習のように登録建築家講習があるとよいのではないか。
 - ・作業部会についての報告を行いました。
あ. 資格制度 い. 専兼問題 う. 実務訓練部会 え. J5+各支部プロモート
お. RA通信 か. 民間ライセンス研究+マニフェスト き. UIAアコードの各ガイドランスの和訳
く. 規則類改訂 け. 実務作業部会 こ. ホームページ
- 以上、2021年度の支部建築家資格制度実務委員会の活動報告です。

■まちづくりグループ（小倉）

1) 支部

- ・活動なし

2) 全国まちづくり会議

- ・まちづくり萌芽事例シートの収集
- ・WEBセミナーの企画

3) きた住まいるヴィレッジ特別グループ

- ・北海道からの委託1：コンセプトブックのデータ作成、納品
- ・北海道からの委託2：きた住まいるヴィレッジへの問い合わせへの対応

■北海鋼機デザインアワードグループ（小倉）

1) 第5回北海鋼機デザインアワードの開催

- ・11/2-3 現地審査 → 11/3 最終審査 → 12/22WEBにて結果発表
- ・デザインアワードニュース（全3回）の発行

----- 建築展グループ -----

リーダー：前川尚治

1) 「北海道の建築展 2022 -受け継がれて進む地域性を見つめて-」の開催準備

昨秋より4月まで15回以上の会議を持ち、建築展の企画・準備を進めております。
具体的には以下に記すような業務です。

- 2021年初秋：開催期間と場所が決定（美術館側からお声掛け頂き、日程など急遽決定）
会期：2022/9/23～10/10 会場：札幌芸術の森美術館 → 準備本格化
 - キュレーター磯達雄氏から展覧会テーマ「受け継がれて進む地域性を見つめて」提示
 - 芸術の森美術館との調整、折衝（タイトル、費用、会場構成など）
 - 第1部で磯氏が展示を希望されている建築作品（古～新まで）に関する現存資料の保管場所や貸し出し可否などの情報収集。該当建築家への資料提供依頼（道内外）。
 - 2部構成案のとりまとめ。会場構成のラフ案作成・調整業務。
 - 第2部「風景に働きかける建築の魅力」コーディネーター植田氏への依頼・調整
 - 広報Gとの調整・準備
 - 総務G、会計Gとの予算調整の類。
 - 会員への出展呼びかけ
 - 協力会への広告協賛のお願い
- ほか

※今年3月からは2週間に1度のペースで定例会議を開催しています（Zoom参加含む）

・赤坂真一郎（建築展担当副支部長）代筆

住宅グループ 2021 年度 活動報告書

■住宅グループ

2019 年より定期的に行ってききました「暮らしの茶話会」は、コロナ禍の影響により未だ再開の目処がたっておらず、2021 年度も実施を見送る状況となりました。アフターコロナの新しい「暮らしの茶話会」を模索し、現在企画の見直しを計っています。

■住宅等連携会議

○定例会議

月に 1 回のペースで zoom にて各支部から 1 名ずつ集まり、住宅等小規模向けの建築家の活動について議論をしています。

具体的には、業務環境改善や、法規改正の動き、各支部の取組みなどのヒアリングなどを行っています。

○2021 年度の主な活動実績

① 告示 98 号改訂について

JIA 本部業務委員会と連携し、新築住宅、住宅の改修工事の業務報酬基準について、住宅等連携会議内で意見をまとめ、国交省へ提出しました。

意見集約のためのアンケート立案、アンケート結果の集計、設計三会での意見交換会や国交省のヒアリングへの参加なども行いました。

② 法規制改善に向けての実態調査

昨年 12 月に全支部に向けて、現行法に対しての意見募集のアンケートを実施しました。現在は、アンケート結果を集計して、内容整理を進めています。

今後、住宅等連携会議のホームページ上で公開する予定です。

③ 国交省が行うパブコメへの参加

今年 1 月の国交省から募集のあった現行法改正についてのパブコメについて、省エネ、戸建住宅に関する改正部分に対する意見を提出しました。

④ 国交省が行う「高齢者が居住する住宅の設計指針の見直し等について検討する委員会」に、住宅等連携会議から委員を 1 名選出しました。

⑤ 国交省住宅局から、木造住宅の荷重・仕様の見直しについての意見交換の要望があり、弘田が参加いたしました。

省エネ性能の高い木造住宅が増え、重量化することによる必要壁量の検討を行うことを目的とした意見交換会でした。

⑥ 住宅等連携会議の web 開設

全国の活動を集め、発信していくために掲載作品募集を継続しています。

web 上では、全国支部活動の他、時事、地域情報なども掲載していく予定で、北海道支部では南幌町の活動や、2022 建築展などの活動を掲載できればと考えています。

■旭川地区会会議（展覧会打合せ、作業参集含む）

【開催】 4/9、4/28、4/30、5/13、7/27、8/20、8/25、10/8、10/8、11/9、12/13、12/16、
1/25、1/29、1/31、2/8、2/24、2/28、3/11、3/28 計 20 回

■生き続けるモダニズム建築展

会期 6/4（金）～6/30（水）で準備を進めていたが、再びコロナのために
会場の彫刻美術館が休館になり延期
会期 9/8（水）～9/30（木）に延期するも、さらなる休館で再び延期
2022 年度の開催（ADW 2022 年 6 月 18 日～26 日に重ねて）を目指す
展示物はほぼ完成しているの、実行費用の決済をする。

【ADW 実行委員会会議】 5/13、7/7、8/4、9/1、3/18 計 5 回出席

■Asahikawa School

□ vol.50 /2021 年 4/21（火） 18：00 Zoom 併催

「インテリア目線のパリ視察」

スピーカー：林雅美（有限会社ディードレープ代表）

【参加人数】会場 7 名、Zoom4 名 計 11 名

□ vol.51 /2021 年 11/26（金） 18：00 Zoom 併催

「赤レンガ市庁舎の再生と未来都市あさひかわ／環境デザイン都市を目指して」

スピーカー：大矢二郎、柳雅人

【参加人数】会場 7 名、Zoom9 名 計 16 名

□ vol.52 /2021 年 3/18（金） 18：00 Zoom 併催

「神奈川県立近代美術館に見るモダニズム建築の再生」

スピーカー：大矢二郎

「旭川地区会メンバーの仕事」

スピーカー：石田純枝、萩川正人、佐々木司、齋藤弘源、渡辺拓哉

【参加人数】会場 7 名、Zoom4 名 計 11 名

■旭川市庁舎関連の活動

市長との面談 10/25（6名）、2/1（6名）、3/16（6名）

市議との面談 2/11（9名）リモートで田根氏と意見交換

「旭川赤レンガ市庁舎の軌跡と未来」第2版 編集発行（1000部）

■ 北総研との協働について

「鷹栖市街地の基本構想および基本計画にかかるイメージ図等作成業務」

鷹栖町市街地におけるエリアマネジメントによる市街地活性化のために、市街地の基本構想および拠点となる複合施設の基本計画に関するイメージを作成。5名でチームを作り対応

■ 2021年度活動報告

JIA 旭川にて進めていた「生き続けるモダニズム建築」展に道東地区として協力。
WEB会議出席、「反住器」A1パネル及び「北海道大学厚岸臨海実験場」A3パネル等の
製作を行いました。

延期された展覧会は今年開催予定との事です。

—— テスクコンペグループ ——

リーダー 鈴木 理

第12回 JIA・テスクチャレンジ設計コンペは、『コロナ禍の北国の建築』～攻める・魅せる・守る熱環境をデザインせよ!～をテーマに開催しました。例年通り、二段階の審査とし、二時審査においては、応募者のプレゼンテーションも含めZOOMによる公開審査を実施しました。

審査委員長 齋藤雅也氏(札幌市立大学)

審査委員 大杉崇氏、山本亜耕氏

- ・登録締切り: 7月15日
- ・作品データ提出締切: 7月27日
- ・1次審査結果発表 : 8月20日
- ・2次審査結果発表 : 9月5日
- ・応募数67作品、提出43作品、最優秀賞1点、優秀賞2点

次年度に関しては、企画を再検討・再構築する年とし、当コンペの新たな役割を設定した上で、2023年以降の第13回開催に向けて企画検討を始動することとなりました。

—— JIA 北海道建築大賞2022 ——

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 大杉 崇 |
| 副委員長 | 名古屋 英紀 |
| 実行委員 | 小西 彦仁 |
| | 鷺見 健二 |
| | 日野 桂子 |
| | 大田 司 |
| | 目黒 泰道 |
| | 櫻井 百子 |

定期的にミーティングを行い下記で建築大賞を行う予定で進めています。

1) 2022年スケジュール

【登録期間】 2022年4月25日（月）～2022年5月30日（月）

【作品提出期間】 2022年7月4日（月）～2022年8月8日（月）

【1・2次審査】 2022年9月23日（金）～2022年10月10日（月）
の JIA 北海道建築展会期中を予定 ※1次審査：公開投票・2次審査：公開審査

【現地審査】 2022年11月7日頃～11月21日頃

【審査結果通知】 2022年12月6日（火）

【表彰】 2023年1月12 JIA 新年交礼会にて表彰予定

2) 審査委員

【審査委員長】

飯田善彦氏
株式会社飯田善彦建築工房

【審査委員】

米田 浩志氏
北海学園大学工学部建築学科教授

【審査委員】

寺田 真理子氏（予定）
横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授

以上

—— 卒業設計グループ ——

| | |
|----------|-------|
| グループリーダー | 中舘 誠治 |
| 全国委員長 | 伊達 昌弘 |
| メンバー | 前田 芳伸 |

1) JIA 全国学生卒業設計コンクール2021

2021年6月19日 建築家会館、JIA 館（東京）（オンライン審査）

全国より約52作品（北海道3作品）が出品。コロナ感染拡大防止のため、オンラインでの審査及びYoutubeにて2次審査のライブ配信を行う。

作品冊子 11月に完成 協賛。事業協力 各社へ配布

2) JIA 北海道学生卒業設計コンクール2022

2022年3月14日 北海道芸術デザイン専門学校（オンライン審査会場）

コロナ感染拡大防止のため、オンライン審査及びYoutube 配信を行った。
道内各学校より、29作品が参加。全国へ推薦される金・銀・銅賞のほか審査委員特別賞3点を選出総会にて表彰の予定。賞状及び金・銀・銅賞へは審査委員川上りえ様作のトロフィーを贈呈（予定）。

審査委員 佐藤孝、赤坂真一郎、川上りえ（彫刻家）

（審査結果）

金賞 Diatonic Line 町田 哲平 北海道芸術デザイン専門学校

銀賞 大地の織物 田元 良 北海道科学大学

銅賞 連情の景 -連歌による合律的設計手法の探求- 小野 誠治 北海道大学

上記3点を6月開催の全国学生卒業設計コンクールに推薦

審査委員特別賞

アートセラピーの森～遊歩道拡張による芸術療法の可能性～ 松井 鈴香 北海道科学大学

アーケードのある暮らし 小澤 大祐 北海道大学

wh/eat -小麦産業発信のための集積 6次産業による複合施設計画- 伊藤 冠介 札幌市立大学

1) 2020年度 AIJ-JIA 活動報告会

2021年6月21日(月) 16:00～16:35、zoomによるオンライン開催参加、20名

■AIJ 支部報告：菊地 優 日本建築学会北海道支部長

・2020年度北海道支部研究発表会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、対面発表中止し、誌上発表とした。また、北海道支部作品発表会は、参加限定の対面方式とオンラインによる交流会として実施、第40回記念作品集を発刊した。

・2022年の建築学会全国大会は北海道開催。新型コロナウイルス感染症対策に配慮した開催を目指す。

■JIA 支部報告：小西 彦仁 日本建築家協会北海道支部長

・北海道支部の活動や情報発信の支部ブログをリニューアルした。

・南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジに関し、道庁より3業務の委託を受注した。

・コンペは、JIA テスクチャレンジ設計コンペ、JIA 北海道学生卒業設計コンクールの実施報告があった。

・2022年開催予定の(仮称)北海道建築展に向けての準備会議をしている。

2) 第23回 AIJ-JIA ジョイントセミナー

2021年6月21日(月) 16:45～18:15、zoomによるオンライン開催。参加、20名

主催 日本建築学会北海道支部 日本建築家協会北海道支部

講師 千歩 修 北海道大学大学院 特任教授、前日本建築学会北海道支部長

演題 「建築生産 新施工技術の開発」

ー環境グループ

グループリーダー 櫻井 百子

■ほっかいどう住宅フェア 2021@オンライン ブース設営

新型コロナウイルス感染症 の急激な拡大による緊急事態宣言などを踏まえ、感染防止の観点から集客型の対面式イベント(リアルイベント)は開催しない方針となり、11月にLIVE配信されたオンラインイベントの番組制作のため、10/3に事前収録することとなり、JIA北海道支部のブース設営を担当した。

オンラインイベントは、<https://www.youtube.com/watch?v=kEPpiKjFmco>にてオンライン配信で視聴できます。

1) 令和3年度(2021年)高校生建築デザインコンクール

道内の建築を志す高校生の勉強の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成と技術向上に寄与することを目的として、平成8年度(1996年度)から実施。道内の建築系学科が設置されている高等学校に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するコンクールである。

■設計課題：身近なバス停留所の上屋

～高校が所在する自治体に存するバス停留所(現状の上屋の有無は問わない)に整備する上屋を提案してください

■応募資格：道内の高等学校(建築系学科)に在籍する個人または2名のグループ

■提出図面：JIS規格A2版 横置き1枚片面に下記のすべてを表現すること

- ・作品タイトル
- ・設計主旨
- ・配置図、平面図、立面図、断面図 縮尺1:50～1:20
- ・スケッチまたは模型写真または透視図
- ・面積表

■応募作品：128名から111作品の応募

■入選作品：最優秀作品賞 ～1作品

優秀作品賞 ～3作品

佳作 ～4作品

特別賞 ～2作品

■経過：募集要項配布 令和3年 7月 7日

作品受付 令和3年11月30日まで

選定委員会 令和3年12月15日

作品展 令和4年 1月9日～10日

■共催：北海道

公益社団法人 日本建築家協会

一般社団法人 北海道建築士事務所協会

一般社団法人 北海道建築士会

2) 北のジュニア・オープンデスク

■コロナ禍の影響により、安全や健康等を考慮し昨年に続き今年度も中止とした。

次期、開催できることを切に願う。

2021年度 保存再生グループ 事業報告

リーダー 小野寺一彦

1) 本部保存再生会議

7/ 2(金) 第一回 保存再生会議 (web)

文化財防災センターからの支部ごとの連絡担当者の依頼について
支部の保存再生会議の委員を担当とする。

10/ 6(水) 第二回 保存再生会議 (web)

文化財ドクター派遣事業の事務局が、文化庁から防災センターへ移行となった。

12/ 8(水) 第三回 保存再生会議 (web)

カーボンニュートラルやSDGsに向けての本部の今後の取り組みについて。
本部環境部会・所 千夏 委員から話題提供。

2) 支部保存再生グループ

21年度も新型コロナウイルスの影響により、対面による会議は未開催のまま終了。
各メンバーには本部会議の資料の送信提供で終わる。

—— CPD評議会——

中 薮 則 喜

1) 主な活動

毎月CPD評議会を開催し、CPDプログラム及びプロバイダー申請の審査を行いました。
また、各月評議会開催の中間でメール審査も行っています。
その他、システムなど以下の内容について見直し、改変しています。

- WEBプログラムの出席確認方法の整理
- WEBプログラムについて、月毎にCPD単位取得が可能なようにシステムを修正
- 「JIAスクール」プログラム一覧をJIAのHPに掲載し、利用者の利便を図る

以上

—— オンライン/リモート対応や環境整備に特化した特別委員会活動報告——

川村 弥恵子

- ・ネットワーク化に関する具体的な手法の実現（会員情報管理など）として JIA 会員のエキスパートインデックス（仮）を作成する取り組みを進めている。
- ・JIA 活動を支えるオンライン化の基礎整備・・・勘定系（会計処理など）各支部地域会からの状況（宿題）を踏まえまとめる活動。
- ・新しい事業の在り方の具体的方針の作成・・・イベント系（セミナーやシンポジウム等）、特に JIA 沖縄大会の在り方のガイドラインの作成を進めている。

以上

—— 本部建築家資格制度実務委員会 ——

委員長 中 毅 則 喜
副委員長 大 田 司

1) 主な活動

職能・資格制度委員会との合同会議を毎月開催、必要に応じてメール稟議を行いました。
主な活動は以下のとおり。

- 資格制度規則、細則、審査要項、マニュアル（2種）の改定作業及び理事会対応
- ホームページ掲載の登録申請説明書の改定作業
- 新規、更新、再登録対象 J I A 正会員のために、申請登録呼掛けの案内説明メール配信
- 支部実務委員会と協働し、新規、更新、再登録申請者の調査、確認作業
- 2021年度第1回、第2回認定評議会（メール審議）の開催準備、補佐
- 2021年度第3回認定評議会（Zoom会議）の開催準備、補佐
- 資格制度について検討する特別委員会の準備WGを総務委員会を含めて立ち上げ
- 資各制度のプロモート、U I A アコードの和訳、実務訓練ノートの見直しなど資格制度の諸課題についての作業

2) 建築家認定評議会

定期、臨時合わせて3回認定評議会を開催、審議結果は以下のとおり。

- 2021年8月 第1回認定評議会（臨時・メール）資格制度規程類改定案を決裁
- 2021年10月 第2回認定評議会（臨時・メール）資格制度規程類改定修正案を決裁
- 2021年3月22日 第3回認定評議会（定期・Zoom）登録申請者の審査、制度に関する意見交換など（登録審査結果）
 - ・新規登録 申請者22名 合格者22名
 - ・更新 申請者614名 合格者614名（更新率79.7%）
 - ・再登録 申請者20名 合格者19名

以上

■本部総務委員会

菅沼秀樹

毎月1回の頻度で実施された本部総務委員会（WEB方式）に毎回出席。

主な検討内容

- ・委員会構成及び委員会規定、同運用基準の策定について
- ・文書管理に関わる署名・捺印に関する取扱いについて
- ・会員規程の見直しについて
- ・苦情対応ワーキンググループの検討内容について
- ・正会員の再入会手続きについて
- ・建築家資格制度規定類の改定案について
- ・会員メールアドレス管理及び本部からのメール一斉配信について

■知財ワーキンググループ（本部総務委員会WG）

- ・「知的生産者の公共調達に関する法整備連絡協議会」＝知的生産者（建築設計者）の公共調達（公共事業設計）における選定について、対価の価格競争（設計入札）を原則としている現行の会計法・地方自治法を、質的なものに改正することを目指して設立された団体。
- ・J I Aはこれの幹事協会の一つとして、活動を支援するための知財ワーキンググループを立ち上げ。
- ・2021年2月15日にキックオフミーティング（WEB方式）が実施され、協議会代表幹事の仙田満氏も参加し、WGのミッション等が議論された。今後、定期的に会議が実施される予定。